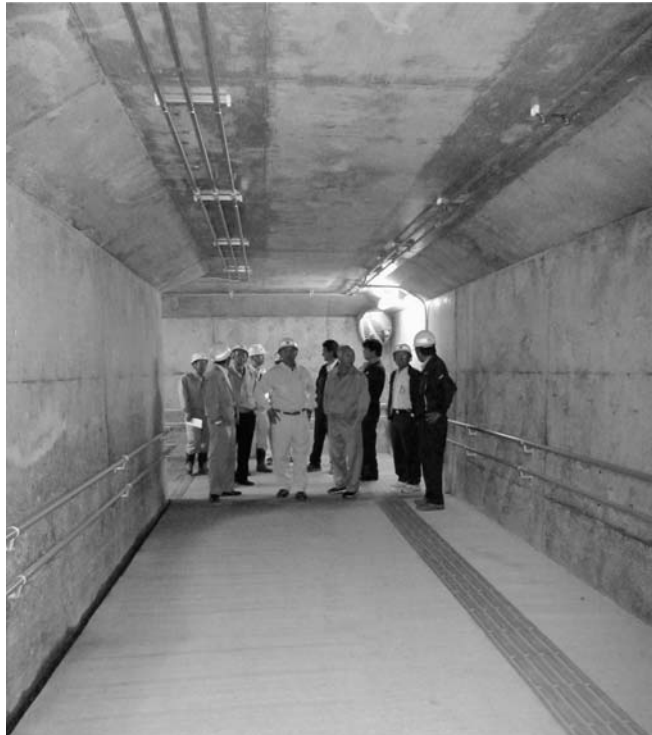


総務・経済常任委員会レポート



利用者からも地下歩道の安全に対する不安の声が聞かれます（佐女川地区）

総務・経済常任委員会が6月24日に開催され、町道の維持・管理状況や、町民プール建設工事の進捗状況等の現地調査を行いましたので、その内容についてお知らせします。

建設水道課

地下歩道 安全対策が不十分

町内では現在、北海道新幹線や函館・江差自動車道の整備工事が盛んに行われています。

午前中は、新幹線工事に伴い付け替えとなった箇所や、函館・江差自動車道工事でも使用されている町道について、現地に向いて事務調査を行いました。町道の付け替えとして整備された中央公民館付近の地下歩道では、階段部分の水たまりが確認されたほか、照明の暗さ等が指摘され、利用者に対し安全対策をはかるよう意見が出

されました。平野委員 以前から、子ども達が通行する際に、非常に危険だとか怖いという声は行政にも届いていると思います。安全に通れるような対策は検討しているのですか。

また、非常ボタンは付いていましたが、人通りも多くありませんので、改善策を検討してほしいと思います。

若山建設水道課長 夜間になれば危険を感じるということ、防犯カメラ等を含めた安全対策について詰めていきたいと思っています。非常ベルについても、効率の良い形で運用できるように考えていきます。

新井田副委員長 保護者の皆さんを交えた中で、安全策について方向性を出していくべきだと思います。



第2リフトの降り場位置が変わり
利用者の負担軽減が図られます

教育委員会

若山建設水道課長 主婦や高齢者を含め、利用者の皆さんの意見を参考にしていきたいと思っています。

福嶋委員 地下歩道の北口付近は、周辺のかたから土地を寄付していただいております。舗装の要望も出ています。

若山建設水道課長 舗装することが理想だと思っておりますので、実現に向けて努力します。

午後は、建設中の町民プールやリフト改修工事予定のふるさとの森スキー場、今年度中にオープン予定の旧鶴岡小学校を活用した郷土資料館の整備状況について事務調査を行いました。スキー場のリフト改修工事は、議会からの意見もあり、第2リフトの降り場位置を頂上付近へ変更するという事です。